ボーリング柱状図

調査名　岡崎市立東海中学校　　ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

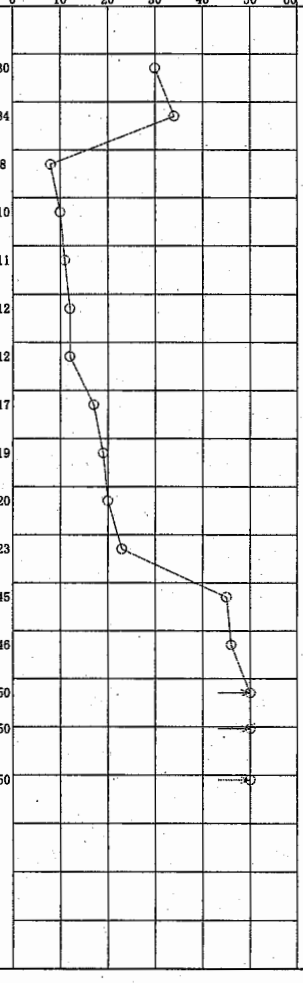
ボーリング名	No. 2	調査位置	岡崎市山綱町字中柴５１番地			北緯	
発注機関				調査期間	昭和51年3月16日～51年3月16日	東経	
調査業者名	中央開発株式会社	主任技師	門脇　昇	現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	松本　辰雄
孔口標高	-0.10m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機		ハンマー落下用具	
総掘進長	16.20m								エンジン		ポンプ	

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	-0.60	0.50	0.50		表土	黄褐			
1 2	-2.80	2.20	2.70		砂礫	褐			
3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	-16.30	13.50	16.20		雲母片麻岩風化土	茶褐～暗緑灰			

孔内水位m／測定月日：5.40 雪

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 cm	N値
1.15	6	11	13	30	30
1.45				30	
2.15	10	11	13	34	34
2.45				30	
3.15	2	3	3	8	8
3.45				30	
4.15	3	3	4	10	10
4.45				30	
5.15	3	4	4	11	11
5.45				30	
6.15	3	4	5	12	12
6.45				30	
7.15	3	4	5	12	12
7.45				30	
8.15	4	5	8	17	17
8.45				30	
9.15	5	6	8	19	19
9.45				30	
10.15	5	6	9	20	20
10.45				30	
11.15	6	7	10	23	23
11.45				30	
12.15	11	15	19	45	45
12.45				30	
13.15	12	15	19	46	46
13.45				30	
14.15	22	28		50	50
14.44		19		29	
15.00	50			50	50
15.08	8			8	
16.00	18	32		50	50
16.20				20	



原位置試験 深度 m	試験名および結果	試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日